

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	鬼無里フットパスによるまちづくり事業
事業主体 (連絡先)	鬼無里観光振興会 長野市鬼無里日影 2750-1
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1, 928, 657円 (うち支援金: 1, 436, 000円)

#### 事業内容

身近な地域資源を活用した新たな観光ツールとして、フットパスを導入し、ワークショップでの検討を経て、鬼無里神社を中心とした「鬼無里の町かどコース」を開設。併せてH30 開設の「しらひげの杜コース」を活用してのウォークイベントを開催。

- コースづくりワークショップ (参加延べ 86 人)  
6～9 月に計 4 回開催、9/23 モニターウォーク実施
- フットパスウォーキングイベント (参加延べ 37 人)  
7/7 開催、住民のおもてなし企画等実施
- 研修会 (参加 23 人)
- 案内マップ作成、案内板・標柱の設置



【活動の様子】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①参加者からはコースづくりやイベント参加を通して地域の文化や自然、生活を知り、愛着が深まったという意見が寄せられた。住民もイベント時のおもてなし企画などへの参加をはじめ、除草など集落の維持管理作業などまちづくり実践者が増加した (約 278 人)。
- ②ワークショップ、イベント、おもてなし企画、NPO との連携交流企画などの参加者や観光客等の関係人口が増加した (延べ約 259 人)。
- ③集落の除草・清掃など環境美化、休耕地での作物栽培再開など里山景観保全が進んだ (総延長 L=4.3km)。

- ①まちづくり実践者の増加
- ②交流人口の増加
- ③里山景観の保全

#### 【目標・ねらい】

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

身近な地域資源を活用し鬼無里地区の課題解決につながる取組みとして、フットパス事業を活用していく方針。これまでに整備したコースを活用し、多くの人に鬼無里をPRして訪れていただく。また、令和2年度は中央2の地区で4つ目のコースづくりに取り組む。将来的には地区内にいくつものフットパスコースをつくり、地域づくりにつなげていきたい。

※自己評価 【 A 】

【理由】  
地区住民は自らの地域の良さを再認識する機会となり、地区外者は里山の生活や自然を体感でき、双方に効果的な事業となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	戸隠地区ユニバーサルツーリズム推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人戸隠観光協会 長野市戸隠
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,406,438 円 (うち支援金: 3,185,000 円)

### 事業内容

戸隠地区のようなバリアの多い山岳地域で、ハード整備だけに頼らない信州型ユニバーサルツーリズムを推進する。

- ・観光情報センター内にユニバーサルツーリズムデスクを設置し、専門的案内や福祉用品の貸し出し、HP やパネル展示、チラシによる情報発信を行う。
- ・地区内のバリア・バリアフリー調査を行い、HP での発信や専用マップの作成を行う。
- ・研修会の開催や、トラベルサポーターの育成による人材の育成。
- ・新たに車椅子用駐車場・トイレ案内板を6基設置
- ・ユニバーサルフェスを開催してPR や人的交流を行う。



【ユニバーサルフェスの様子】



【車椅子旅行者の様子】

### 【目標・ねらい】

### 事業効果

- ① 県内観光協会として初めて専門的情報が必要な旅行弱者への対応窓口を設置した。また、専門的な用具の貸し出し、案内の追加、専門情報の発信により旅行者や地域事業者両方の利便性を改善できた。
- ② 専門的知識を有する地域トラベルサポーターを10名養成し、地区22事業者の事業協力を獲得した。研修会により交流や知識の共有を行った。
- ③ アウトドア用車椅子や福祉機器の貸し出しは3カ月間で17件、33アイテムであった。スキー学習旅行での車椅子生徒の受け入れは現在5件。
- ④ 研修会には近隣2地域より参加があり、フェスでは県内外から関係事業者や当事者の参加があり、意見の交換や繋がりを作ることが出来た。

- ① 旅行弱者の利便性の改善
- ② 知識の共有や人材の育成
- ③ 新たな旅行者や学習旅行の獲得
- ④ ユニバーサルツーリズムの広域的な広がり

### ※自己評価【 A 】

UT デスクを開設して、予想以上の問い合わせや用具の貸し出しがあった。地域事業者の協力も得られた。スキー学習旅行での学校関係者やイベント、モニター参加者には、高い評価を頂けた。

### 今後の取り組み

今年度は主に、車椅子利用者や高齢者を対象とした取り組みを行った。今後は、実際に訪れて頂く機会を増やすために、情報発信やPR やイベント、モデルツアー等を継続的に行っていききたい。

また、インバウンドや小さな子供連れなど、他の旅行弱者への対応も充実させていく必要がある。取りこぼしの無いように対象者を広げていきたい。

地域の協力事業者を増やし、地域全体でユニバーサルツーリズムの理解が進むように、啓蒙活動や研修会を続けていきたい。

広域的な広がりはまだ始まったばかりなので、引き続き研修会やフェスの開催で人的交流を深めていきたい。導入した機材も他の地域には無い特色のあるものなので、有用性の理解を広げて、他地域への貸し出しなども行っていききたいと考えている。

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	釣一リズム信州推進事業@千曲市(戸倉上山田地区)
事業主体 (連絡先)	「釣一リズム信州」千曲市戸倉上山田地域協議会 千曲市経済部農林課生産振興係 TEL026-273-1111 久保 誠一
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,201,161円(うち支援金:800,000円)

### 事業内容

#### 1 冬期ニジマス釣り場の開設

- ・場所: 戸倉上山田地域の万葉橋と大正橋間の千曲川
- ・期間: 令和元年10月1日~令和2年2月15日
- ・看板の作成・設置:  
事業案内看板 5箇所  
釣り場入口案内看板 3箇所
- ・ニジマス放流: 約90kg×10回分(各回600~700匹)  
10/1(火)、10/5(土)、11/30~12/21の土曜日 全6回  
(令和元年東日本台風の影響により一時中止期間有)



【ニジマス放流】

#### 2 オープニング式の開催

10/1(火)からの冬期ニジマス釣り場開設に伴うセレモニーを開催。

- ・日時: 令和元年10月5日(土)8:30~8:45
- ・場所: 戸倉千曲川緑地公園(万葉橋下流左岸)
- ・主催者あいさつ(協議会会長)
- ・来賓あいさつ(戸倉上山田温泉旅館組合連合会会長)
- ・事業内容説明
- ・来賓、役員、モニターによるニジマス放流式
- ・参加人員 約50名



【ニジマス釣り教室】

#### 【目標・ねらい】

- ①釣り人口の増大
- ②漁協の遊漁券販売数の増
- ③釣りによる観光客の増加

#### 3 「小中学生ニジマス釣り教室」の開催

- ・日時: 令和元年10月5日(土)8:30~12:00
- ・場所: 戸倉千曲川緑地公園(万葉橋下流左岸)
- ・内容  
長野県釣りインストラクター連絡機構の指導のもと、キャスティング練習の後、えさ釣り、ルアー釣りに分かれ、川で釣りにチャレンジ。  
29名の小中学生が参加。  
参加者に豚汁振る舞い。  
持ち帰り用ニジマスの配布。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

- ・遊漁券の販売枚数は、台風の影響で冬期釣り場が一時閉鎖したことにより減少したが、日釣券の値上げにより、年度券が増加したことで売り上げ額は増加した。
- ・小中学生ニジマス釣り教室では、当日1名の欠席者がいたが、募集定員を上回る申し込みがあった。

#### 4 宣伝・広報活動及びアンケート調査の実施

- ・チラシ・ポスターの作成  
冬期ニジマス釣り場開設チラシ 1,540枚  
" ポスター 46枚  
小中学生ニジマス釣り教室チラシ 470枚  
" ポスター 46枚
- ・市内外釣り具店、コンビニ、旅館、市内公共施設、駅に配布

(別記様式第12号)(第3の8関係)

- ・漁協、市、観光局、県、地域振興局、信毎HPによる宣伝・広報活動
- ・釣り人モニター(3名)を委嘱し情報を漁協HPに掲載

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

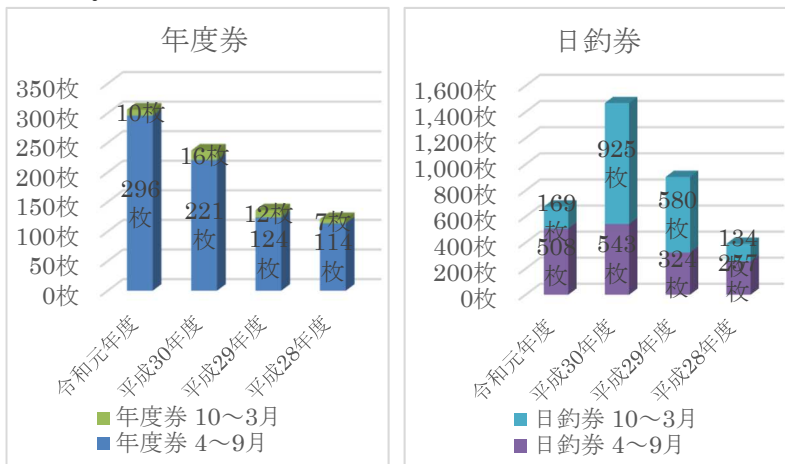
### 1 千曲市に訪れた釣り人の増加

チラシ、ポスターを釣り具店、コンビニ、旅館、市内公共施設、駅に配布し宣伝活動を実施したことやHP等の広報活動による効果もあり、冬期釣り場開設初期は、千曲川で釣りをする人が多くいたが、台風による一時釣り場の閉鎖、再開後釣り場の縮小により釣り人は減少した。

しかし、日釣券の値上げにより、年度券の販売が増加したことから、年間を通した釣り人は増加していると思われる。

### 2 遊漁券販売数の増

事業実施前(H28年度)から販売枚数は下記のとおり増加している。



## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和元年度は元気づくり支援金を活用した計画最終年度となる3年目でした。

事業実施後、遊漁券の販売枚数は上記のとおり確実に増加しています。(令和元年度は令和元年東日本台風(台風第19号)の影響により減少)収入が増えることで今後の更埴漁業協同組合の活動を広げることができます。

しかし、単に釣りをするだけの為に千曲市を訪れる釣り人が大半であり、事業の最終目標である地域の観光資源である温泉、食を活用した地域の活性化に繋がっているとは言えない状況でした。

来年度以降は漁業協同組合を中心に禁漁期間中のニジマス放流、釣り教室の実施、宣伝・広報活動を継続し実施します。

今年度も温泉PRのため実施している外湯めぐりスタンプラリーを印刷しましたが、来年度以降も観光資源をPRするものを宣伝したいと考えています。

戸倉上山田温泉旅館組合に働きかけ、宿泊施設でも遊漁券が購入できるようにするなど協力を呼び掛けたいと考えています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ストライダーエンジョイタウンから始まる信濃町における地域交流と魅力発信事業		
事業主体 (連絡先)	黒姫高原ブランド倶楽部 080-3344-2606		
事業区分	産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,563,200	円 (うち支援金:	1,183,000 円)

事業内容

- ① ストラIDERエンジョイタウンしなのまち  
ストライダー乗り方教室&交流会  
町内の園児と近隣の子どものまち  
ストライダーの乗り方と交通マナーを学ぶ交流会  
講師としなのまちキッズによる指導と運営を行った  
また北信地域の幼稚園・保育園、子育て支援施設  
等に配布している「月刊モナミ」に掲載することで、飯綱町、長野市、飯山市、中野市、上田市等  
近隣の市町村へのPRにも力を入れた。  
その結果37組の誘客に成功した。
- ② ストラIDERエンジョイタウンしなのまち農業体験&  
地域交流会  
夏のストライダーエンジョイカップの前日に実施  
1、信濃町の特産品でもあるトウモロコシのもぎ  
取り体験  
2、ウッドスタート宣言している信濃町ならではの  
木育体験  
3、地域を知るために、移住者である黒姫ライジ  
ングサンホテル中條さんから移住前後の実体験を  
交えた話と質疑応答で、参加者からも積極的な  
質問が生まれた。  
参加者：33組



【ストライダー乗り方教室①】



【ストライダー乗り方教室②】



【農業体験&交流会①】



【農業体験&交流会②】

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

### 【移住への足掛かり】

地域体験&移住者との交流を図ることができ、今後の再訪へと繋がる動きができた。

参加者：33組

### 【観光誘客】

農業体験も含めたストライダーエンジョイカップ前後のPRにより、自主開催のエンジョイカップ参加者が323組1500名の交流人口を生み出した。

交流人口約1500名；宿泊：323×60%=180組程度が宿泊。宿泊旅行に伴う1回の旅行費用が1名約3万円（じゃらんリサーチセンターデータ）1組約10万の消費。宿泊を伴わない消費まで含めたそこから想定される経済効果は、約2000万円。

### 【実際の声】 (体験交流会)

・ストライダーが身近にあり、地域の子どもが元気で楽しそうですね。  
・近くに住んでいながら、初めて信濃町を訪れました。

### (農業体験と地域交流会)

・木を使った遊びがいいのはわかっているが、機会がないため子どもの自分にとっても貴重な時間でした。  
・実際都会から移住された方のお話に、自分が重なり、移住に興味を持てた。



【農業体験&交流会③】

### 【目標・ねらい】

- ① 交流人口の増加
- ② 地元住民との連携
- ③ 次年度以降への課題抽出

※自己評価【 B 】

### 【理由】

交流人口の獲得、住民との連携については一定の効果の創出ができたが、目標人員に達成には至らなかった。

## 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

町民との連携を図りながら、盛り上がりは継続。「ストライダーエンジョイタウン」を体験できる機会の確保、発信の継続、認知の拡大、安定化を図り、地元、周辺地域、国内をはじめ、海外にも目を向けた観光客増を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	峰街道観光プロジェクト
事業主体 (連絡先)	峰街道の会 上水内郡小川村大字小根山 8000-4
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,351,120 円 (うち支援金 : 1,080,000 円)

#### 事業内容

歴史ある峰街道をより多くの観光客に、迷いなく安全に利用してもらうため、下記の事業を行った。

- ・峰街道の整備 (3 回)、トレッキング (参加者 67 名) の実施。
- ・出入口に案内板 (10 か所)、分岐点に道標 (80 か所) を設置。
- ・地図付きのパンフレット作製 (2000 部)、長野駅、大町駅、道の駅 (信州新町、中条、小川、美麻) に 200 部ずつ設置。



【トレッキングの様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①峰街道の整備
- ②峰街道の利用
- ③峰街道の PR

#### 事業効果

- ①草刈り等の整備と案内板、道標の設置により、多くの観光客が迷いなく安全に、峰街道を利用できるようになった。
- ②トレッキングの実施と案内板、道標を地元住民協力のもと設置したことにより、峰街道の利用がより促進された。また、パンフレットに地図を載せたことにより、今後の利用者増加が期待できる。
- ③パンフレット作製・配布および峰街道の活動がマスコミに取り上げられ、峰街道をより多くの人が知ることができた。また、パンフレットは配布したばかりなので、今後より効果が期待できる。

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

道の整備、トレッキング実施、案内板・道標設置、パンフレット配布がそれぞれ連動し、またマスコミにも取り上げられ、峰街道の利用者が増加すると共に、PR 効果も大きかった。

#### 今後の取り組み

この事業により、峰街道の会と長野市、大町市、小川村の観光協会との協力関係がより深まりました。今後は関連観光協会とより協力して、峰街道の整備、峰街道を活かしたイベントの開催、峰街道の研究・調査を行っていきます。整備として景観を阻害する杉の伐採と桜並木の整備、拠点整備 (休憩所、トイレ、駐車場など)。イベントとしては他の観光団体 (トレッキング、ランニング、サイクリング、オフロードバイクなど) と協力。研究・調査としては、歴史、古道や動植物や地層など。これらの活動を通して、今回作成したパンフレットの内容をより良いものに修正し、再版していきたくと考えています。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある